

今日から我が家の分別係

ごみ分別ゲーム

学校の関連学習単元

小4/社会
住みよいくらしをつくる(ごみのしよりと利用)

プログラム概要

対象 幼 小1 小2 小3 小4 小5 小6 中学 大人
◎ ◎ ○ ○ ○ ○

分野	時期	時間	人数	場所	講師	費用
廃棄物	通年	45分 (1時間)	40人 (1クラス)	理科室等	1人	無料



ねらい

- ・家庭や学校など毎日の生活から出るごみの量や処理について知る。
- ・ごみを減らすために、正しいごみの分別の方法を身につけ、実践できるようにする。

実施内容

- ・浜松市のごみの量や処理するための費用についての説明を聞く。
- ・家庭から出るごみのサンプルを使った分別ゲームを行う。
- ・ごみの分別方法を確認しながら、分別のポイントを紹介する。

事前準備

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

- ◇3～4人ごとにグループ分けをする(最大6グループ)。
- ◇教室の机等を移動して、ゲームを行うスペースを作る。
- ◆分別ゲームで使用するバスケットに模擬ごみを入れておく。

使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

- ◇筆記用具
- ◆ごみのサンプル
- ◆買い物かご
- ◆ごみラベル
- ◆分別収集カレンダー
- ◆浜松市指定ごみ袋
- ◆ワークシート

講座活用のワンポイントアドバイス

- ・「ごみはトラベラー」のプログラムと併せて受講すると、理解を深めることができます。

実施機関

浜松市環境政策課(浜松市環境学習指導者)

下記連絡先へ実施日の1ヶ月前までに申し込んでください。浜松市環境学習指導者を講師として派遣します。実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の1週間までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先：浜松市環境政策課 TEL:053-453-6149 FAX:050-3606-4345
E-mail:kankyoku@city.hamamatsu.shizuoka.jp



プログラムの展開例

時間	内容	指導のポイント
導入 10分	<p>○浜松市のごみの現状についてクイズを出題して説明する (ワークシート1～3を記入)</p> <p>① 浜松市全体では、一日にどれくらいのごみが出るのか？ ② ごみを処理するためには、どれくらいお金がかかるのか？ ③ ごみを減らさないとどうなるか？ (平和最終処分場について説明する)</p> <p>○正しい分別がごみ減量につながることを伝える</p> <p>・ごみのサンプルを見せて、使い終わったらどうするかと問いかける。 (例)菓子箱⇒「燃えるごみ」でなく「雑がみ」と「容プラ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを使って、クイズの回答を紹介しながら、ごみが増えると困ることを伝える。 ・ごみ処理にお金がかかる ・ごみを捨てる場所がない ・ごみのポイ捨てが増える ・ごみが増えると地球温暖化が進む ・ごみだと思っていたものが資源であることに気づかせる。 ・ごみを減らすためには、正しく分別して、リサイクルすることが大事であることを伝える。
体験 20分	<p>○分別ゲームをする</p> <p>① 各グループにごみのサンプル(資源物含む)が入ったバスケットを配る。 ② グループごとにごみのサンプルを、分別ラベルのある場所ごとに分別する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみのサンプル例 (生ごみ、靴、プラ製おもちゃ、枝、洗剤の容器、発泡スチロール、お菓子の袋、ペットボトル、スチール缶、アルミ缶、手鏡、乾電池、蛍光管、自転車、新聞紙) ・実際の出し方にあわせて行う。 (指定ごみ袋の使用やコンテナ出しなど) ・迷っているグループには、ヒントを与えたり、家庭に配っている「分別収集カレンダー」を見せたりする。
まとめ 15分	<p>○答え合わせとごみ分別のポイントを紹介する</p> <p>・分別ゲームの結果を確認しながら、間違っているものは、分別のポイントを紹介する。</p> <p>○リサイクルマークを紹介する</p> <p></p> <p>○ごみ減量のポイントを紹介する (これからはこんなこともやっぴいこう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を大切ににする。 ・こぼれたものをふき取るときは、ティッシュペーパーを使わずに、雑巾や台布巾を使う。 ・使い捨て製品は使わない。 ・買い物に行くときは、マイバックやマイバスケットを持参する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい分別をすれば、ごみになるものが減り、リサイクルできるものが増えることを伝える。 ・合言葉は、 『混ぜればごみ、分ければ資源』 ・商品についているマークが表す意味を紹介する。 ・ごみを減らすためには、ごみをつくらない・出さないことが大切であることを伝える。 ・合言葉は、『もったいない!』

